



Toshiko Takahashi  
街角特派員 高橋敏子  
(谷中蛸沼・11区)

私は、ガールスカウト群馬第28団で団委員長を務めています。活動に携わり、今年で8年になります。今回の街角特派員レポートでは、私の所属する群馬第28団を取り上げ、ガールスカウトとはどんなところなのか、紹介したいと思います。ガールスカウトの目的は、少女と若い女性が自分自身と、ほかの人々の幸福と平和のために責任ある市民として自ら考え、行動できる人となるようにすることです。そのために「やくそく」と、部門ごとの「おきて」を設け実践するための「モットー」もあります。

一例を挙げると次のようになります。す。やくそく▼ブラウニー部門「わたしは、よくみて、よくききます。そして、みんなとなかよくします。おきて▼「私はいつも明るく、勇気を持ちます。私はいのちのあるものを大切にします。モットー▼「いつもここに」「そなえ、つねに」。それでは皆さん、ほんの一部ですがガールスカウトの魅力を広報誌を通じてご覧になってみてください。

今回の街角特派員レポートでは、高橋敏子さん自身も活動しているガールスカウトについて紹介します。

## Girl Scouts ガールスカウトとは

すべては、子どもたちの幸せを願って—。



ロバート・バーデン・ポウエル



オレブ・バーデン・ポウエル

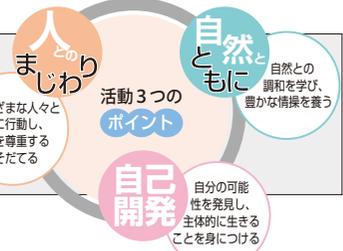
▶ガールスカウトの基本原則は、「やくそく」「おきて」です。人種・国籍・宗教の差別なく健全かつ幸福で社会に貢献する女性の育成を目的とします。世界的団体として「ガールガイド・ガールスカウト世界連盟」があり、現在144の国が加盟し、メンバー数は1,000万人を数えます。



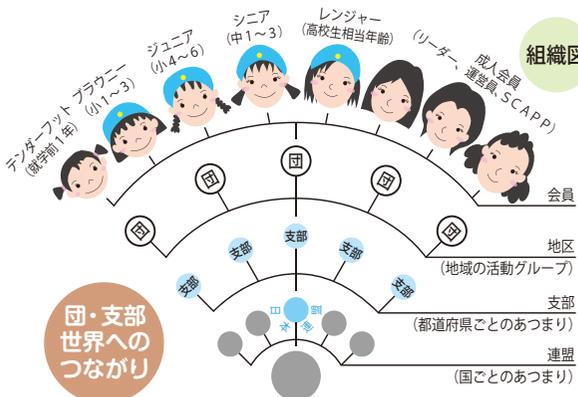
↑世界連盟  
ロゴマーク

1908年、イギリスのロバート・バーデン・ポウエルが、まずボーイスカウト運動を始めました。ポウエルは、その2年後、ボーイスカウトの集会に参加していた少女たちの「スカウトになりたい」との希望を聞き届け、妹のアグネスに託し、特に少女のためのガールガイド運動を始めました。その後、妻オレブがこの運動の発展に献身的に努力し、運動は世界中に広められました。1912年、ジュリエット・ローがこの運動を始めたとき、ガールスカウトという名称が生まれました。日本では、1920年「日本女子補導団」として東京に最初の組(団)ができ、第2次世界大戦後の1952年に「ガールスカウト日本連盟」が発足したのです。

▶ガールスカウトの活動は次の3つのことにポイントをおき、さまざまな分野の体験的な活動を展開します。



### 組織図



テンダーフット▶「五感を使って遊ぶ」、「好奇心をのぼす」  
ブラウニー▶「自分が今できること」を確認し、「自分ができるところ」を探す  
ジュニア▶「仲間と共にさまざまな体験」をすることで、自分以外の人の思いやりや人々の幸せを考える  
シニア▶自分の具体的な関心事や身のまわりの諸問題を認識して自主的に課題を見出し、企画実施して評価を経験する  
レンジャー▶「地域に役立つ企画・運営・評価」をすることで、これまでの活動で身につけたことを生かし、さらに地域社会に役立つ活動に結びつく実践力を養う  
リーダー▶それぞれの部門の指導資格を得た指導者  
運営員▶団の運営に関わる  
SCAPP▶自らの関心や興味による活動を行い、その成果を団や地域社会で生かす

# Girl Scouts Gunma 28

ガールスカウト群馬第28団



わたしたちガールスカウトで  
MACHIKADO REPORT No.193  
街角特派員レポート

# がんばってます。



少女たちは、さまざまな活動プログラムを実践します



ひとさし指、中指、薬指を立てるサイン、「やくそく」を唱えるときやあいさつをするときに使う

## 活動

活動の基本となる価値観は、ガールスカウトが守るべき、やくそくとおきての中に示されています。

が、何よりうれしいです。活動しながら、学び、成長することもある。今は、子どもたちの笑顔を見るのが、何よりうれしいです。

●天谷さんへインタビュー  
かけがえのない少女たちの笑顔のために  
ガールスカウトは「自己開発」、「人との交わり」、「自然とともに」が活動のポイントです。家庭や学校だけでは体験できない募金活動やバザー、ボランティア、お菓子作り、キャンプ（宿泊を伴うこともあり）を行っています。



Chiyoko Amagai  
ガールスカウト群馬第28団  
リーダー 天谷 千代子さん  
(藤川・16区)



↑結成当時は町内の少女たちが数多く入団し、活気にあふれていました



→昭和53年の夏にガールスカウト群馬第28団が産声をあげました。写真は、発団式であいさつに立つ初代団委員長・故大川シマさん

## 歴史

ガールスカウト群馬第28団の発足  
当時は振り返ります。

ガールスカウト群馬支部は、昭和27年に発足。当時、57団つくられました。平成22年には結成60周年を迎えました。邑楽町にある第28団は、昭和53年に結成。当時の写真を一部紹介しながら発足当時のガールスカウトを紹介します。



↑町民体育祭に参加するガールスカウトの少女たち

## 取材を終えて一街角特派員 高橋敏子 少女たちには、ステキな明るい 人生を歩んでほしいと願います。



私の思うガールスカウトの魅力は、最初消極的だった少女が積極的な子に成長できるということ。そこにあると思います。入団して集会に参加したり、自分の関心の強い活動プログラムを行ったりしながら積極的な少女へと成長を遂げるのです。

ボランティア活動に参加している少女たちの顔は、とてもイキイキしています。その姿は、だれが見ても美しいと思うはず。また女の子としてさらに活発に参加できるのは料理教室。いよいよね、さまざまな活動プログラムに参加することによって、少女たちはイキイキと自分が変わっていくことに気づくはず。それって、女の子として生まれてきたからには、ステキな明るい人生を歩んでほしいと願います。



↑雨のなかプラカードを持つガールスカウト（昨年の町民体育祭）



←模擬店の店先に立つガールスカウト。売上金は、活動資金や募金に活用されます（昨年の邑楽町産業祭）



Toshiko Hayasini  
ガールスカウト群馬第28団  
SCAPP 林 俊子さん  
(大根村琵琶首・10区)

●林さんへインタビュー  
発足は昭和53年にさかのぼる  
邑楽町のガールスカウト群馬第28団（以下第28団という）は、昭和53年の夏に発足。その歩みを続けてきました。

「私一人も小学1年生のときに入団しました。私自身も成人会員としてガールスカウトの活動に携わることになり、今年で33年目を迎えます。」  
「将来、母親となる少女たちに受け継いでほしい精神」  
少子化の影響や親のライフスタイルの変化で、団員数も年々減少してきていますが、ガールスカウトの少女たちが将来母親になったとき、育んだ奉仕の心や思いやりの心は、きっと役に立つと思います。そして、社会貢献できる一人の女性へと成長してくれるものと期待します。

### ガールスカウト出身の著名人たち

芸能人▶小池百合子（政治家）、近藤春菜（芸人・ハリセンボン）、  
瀧崎ゆり子（タレント）、酒井美紀（女優）、中山エミリ（タレント）、  
吹石一恵（女優）  
外国人▶エリザベス2世（イギリス女王）、ヒラリー・クリントン（政治家）、キャサリン・D・サリバン（宇宙飛行士）、  
エスメラルダ・サンチャゴ（作家）、マドンナ（歌手）、ナンシー・レーガン（ロナルド・W・レーガン元米国大統領の妻）

### Information

まずは集会を見学してみてください。何年生からでも入団できます。

★メンバー募集★ ガールスカウト群馬第28団

- ▶活動日 毎週第2・4土曜日
- ▶時間 午後2時～4時
- ▶会場 邑楽町公民館
- ▶会費 月額600円
- ▶制服 レンタル利用可
- ▶問合せ先 邑楽町公民館 ☎88-1290

### Natuki Yamamoto

キャンプで、ほかのスカウトとも交流できておもしろいです。

ブラウニー 山本 菜月さん 中野小学校2年

「小学1年生のときに入団しました。2年連続でキャンプに参加しました。町外のガールスカウトの人たちと出会って、おもしろかったです。これからも続けていきたいと思っています」

### Norina Abe

ガールスカウトで、いろいろ学べて楽しいと思います。

ジュニア 阿部 紀奈さん 長柄小学校6年

「ガールスカウトでは、わたしの知らないたくさんのお話を学べるので、楽しいです。それと家のお手伝いに役立つことも教わりました。これからも続けていきたいと思っています」

### Risa Abe

学校では、教えてくれないことも教えてくれるので楽しいです。

ブラウニー 阿部 里紗さん 長柄小学校3年

「昨年、お母さんに勧められて、お姉ちゃんと一緒に入団しました。ガールスカウトでは、学校では教えてくれないものづくりなども教えてくれるので、とても楽しいです」